

平成30年度 日本大学スポーツ科学部個人研究費 研究実績報告書

所属： スポーツ科学部 競技スポーツ学科

資格： 教授

氏名： 小山 裕三

研究課題		運動教授による運動実施者の運動感覚の変容に関する内省的考察(砲丸投を対象として)
報告の概要	研究目的及び研究概要	<p>研究目的                      該当運動の運動経験がなく、専門的知識を有さない被験者を対象とし、運動教授による運動感覚の変容について考察することを目的とした。</p> <p>研究概要                      被験者に対して対象運動実施後に、質問紙にてアンケートを行い、その後内省分析を行う。具体的な手段としては、対象運動において指導者による言葉がけを行う。言葉がけについては、学習指導要領(高等学校)に記載されている事項から抽出を行う。その言葉がけをされ、自身の内観にどのように変容があったかについて、後日質問紙にて質問を行う。そこから、ビランによって指摘されている4つの運動意識分類に基づいて分類を行い、考察していく。</p>
	研究成果	<p>本研究のポイントは該当運動の運動経験がない被験者を対象とした場合であることから、経験者に対して運動教授を行うことでどのように運動感覚が変容するのかあらかじめしておく必要がある。その結果をもとに運動経験の有無の観点から、考察を行わなければならないと考えられる。そこで、予備研究として今年度は実施したことのある跳躍運動を用いて、運動教授によって運動感覚がどのように変化し、パフォーマンスに影響を与えたのか考察を行った。</p> <p>その結果、今後の研究を考察する上で役立つ資料および結果が明らかになった。また、学会発表を通して、データを公表することができたと同時に他の研究者と意見交換することで新たな視点が発見できた。</p>
研究業績	<p>・論文および著書</p> <p>著者名・論文標題・雑誌名・査読の有無・巻・発行年・ページ数</p>	なし
	<p>・学会発表等</p> <p>発表者名・発表標題・学会名・発表年月日・発表場所</p>	①学会発表:宮内育大・森長正樹・加藤幸真・小山裕三「跳躍運動における接地の意識差がパフォーマンスに及ぼす影響」東京体育学会第10回大会、2019年3月10日、東京大学。
	<p>・その他</p> <p>*学会・競技団体報告書など                      著書名・標題・掲載誌名                      発表年月・発行所                      *講演会、研究会、研修会、セミナー等での講演発表                      発表者・発表年月・題目名・講演会名                      *社会貢献活動等</p>	なし